

親子遊ぼう会 ～和久積み木を通して～

2023年12月16日（土）
西東京市立そよかぜ保育園

和久積み木とは、^{わくようぞう}和久洋三氏が創った積み木の事です。
子どもは遊びの中で、

“左右の高さを同じようにするためにはどうすれば良いか？”

“もっと高く積み上げるにはどうすれば良いか？”

と常に大きさやバランスに注意していつの間にか数量や形態に対する認識を深めていきます。

◆積み木遊びを通して育つ力

○ 積み木に触れて

- ・触った経験がたくさんあることにより、次第に物を見て裏側も形を予想できる
- ・積み木同士の関係性を見つけ出していける（“三角形を二つ合わせると四角形になる”など）
- ・量、高さの違いを感じとる
- ・つなぐ作業が線をつくり、境界をつくることを感じとる

○ 遊んでいく中で

- ・注意力や集中力を高める（面白いと感じると、集中して取り組める環境ができてくる）
- ・バランスに対して敏感になる
- ・高く積み上げていくことで、視野が広がる
- ・積んだ積み木の面に穴をあけられることを知る

○ 見たてる （重力と摩擦）

- ・イメージを浮かべて想像力を育てる
- ・抽象能力を高める

○ 豊かな心

- ・達成感を味わう 例：自分の背より高いタワーができた
※自分が夢中になって満足できると、他者を認められるようになる
- ・作る過程の中で、友達との会話が生まれる
- ・お友達と協力したからすごいものができたという、共同作業の喜びを体験する



普段子どもたちが積み木を使って楽しく遊ぶ中でも、心身ともに大きな育ちに繋がっていますよ。